



上本部学園
学校便り16号

11月サマー!
上本部学園HPにも掲載しています

令和7年11月11日
校長:天久 孝雄

第65回北部支部読書感想文・感想画コンクール入賞者

- 小学校読書感想文(課題読書)優秀賞 金城 瑠莉(6年)
- 小学校読書感想文(自由読書)優秀賞 長濱 律(1年) 與那嶺 李瑚(1年) 與那嶺 結(3年)
- 小学校読書感想画(指定図書の部)優秀賞 具志堅 仁乃(1年)秋山 莉花(1年) 優良賞 平安山 良鷹(1年)
- ☆中学校読書感想文(自由読書) 優良賞 玉城 陽葵(2年)
- ☆中学校読書感想文(課題読書) 優良賞 河住 夏歩(2年)



シマノレーシングチーム交流会



11月7日(金)に「ツールド・おきなわ」に出場した「シマノレーシングチーム」が来校し、野寺 秀徳 監督からロードレースの魅力やチームワークの大切さについて語っていただき、6年生との交流を楽しんでいました。



総合学習(4年生)

総合学習の一環で、海洋博記念公園で、島野菜植え付け体験を行いました。これから、成長の記録や島野菜のことについて探求していく学習が楽しみです。



性教育講演会(6年生)

名桜大学看護学科・助産師専攻科の学生3名と、先生3名が来校し、性教育や思春期の心の変化などについて教えて頂きました。初めは緊張気味でしたが、アイスブレイキングを通して楽しく活動することができました。



矯めるなら若木のうち

盆栽や庭木など、枝を切って姿をよくすることを「矯める」(ためる)といいます。木の姿をよくしようと思うなら、老木になってから枝を切ってもダメで、若木のうちに「矯める」を行わなければなりません。何が言いたいかというと、「しつけの大切さ」です。人間も同じで、悪い癖や習慣は子供のうちから直していくないと、大人になってから取り返しのつかないことになってしまいます。「あって七癖無くて四十八癖」のことわざもあります。

いじめや不登校など、多様な問題が全国的に起きていますが、本校も同様です。このような問題は、いずれも小学校低学年や中学年からその目が出ていると言われています。その目を見つけて「矯める」ことが大切です。

一つ一つ丁寧に「矯める」ことを行い、成長の添え木として、学校教育・家庭教育・社会教育、三位一体となって取り組んでいきたいと考えています。



「いじめと依存」～スマホに居場所を求める子どもたち～

講 師:高宮城 修 さん

スマートフォン教育アドバイザー/沖縄県委託 サイバーフィルム講習会講師
子どものスマートフォン協議会

学校や家庭、ネットでの居場所(コミュニティ)を守るために「いじめや仲間はずれ」などの排除がいじめ行為となり、その被害者が「依存」に陥ってしまう過程と、いじめや依存を防ぐための「スマートフォンと上手に付き合うための家庭での親子のコミュニケーション」について具体的なポイントとは?

日 時 令和7年11月30日(日) 14:00~15:30

場 所 上本部学園 多目的教室

参 加 者 本部町内 各単位PTA会員および地域の方(子ども連れての参加も可)

参 加 費 無料(参加者の人数把握のため 右のQR CODEより申し込みをお願いします)



11月26日(水)までに
お申し込みください。

